

※ 必ずP.4-10を確認し、希望科目(レベル)を選択してください。

2026年度短期日本語集中プログラム

プログラム案内 夏コース

早稲田大学日本語教育研究センター
Center for Japanese Language

«問合せ先»

早稲田大学日本語教育研究センター

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-7-14

【電話】03-3208-0477 ※土日祝、一斉休業期間を除く9:00~17:00

【問い合わせフォーム】<https://forms.office.com/r/SaNLH5c0Yi>

【ウェブサイト】<http://www.waseda.jp/inst/cjl/>



1. プログラム概観

短期日本語集中プログラムは、早稲田大学日本語教育研究センターによって設置・運営されています。本プログラムでは、日本語、日本文化に興味をもち、旺盛な知的好奇心と高い勉学意欲を備えた学生を迎え入れ、日本語を主体的に学び取ることができる学習機会を提供し、短期間で日本語の基礎的な能力を総合的に身に付けることを目指します。

2. 開講スケジュール



授業等実施日程：2026年7月2日～7月21日（下表のとおり）

日付 / Date			時間 / Time	内容 / Contents
7/2	木	Thu	10:00-(予定)	オリエンテーション / Orientation
			13:10-16:45	授業（教科書を使った授業） Class - textbook-based lessons
7/3	金	Fri	13:10-16:45	授業（コミュニケーション活動） Class - communication activities
7/4	土	Sat		
7/5	日	Sun		
7/6	月	Mon	13:10-16:45	授業（教科書を使った授業） Class - textbook-based lessons
7/7	火	Tue		
7/8	水	Wed		授業（コミュニケーション活動） Class - communication activities
7/9	木	Thu		
7/10	金	Fri		
7/11	土	Sat		
7/12	日	Sun		
7/13	月	Mon	13:10-16:45	授業（教科書を使った授業） Class - textbook-based lessons
7/14	火	Tue		
7/15	水	Wed		授業（コミュニケーション活動） Class - communication activities
7/16	木	Thu		
7/17	金	Fri		
7/18	土	Sat		
7/19	日	Sun		
7/20	月	Mon	13:10-16:45	授業（教科書を使った授業） Class - textbook-based lessons
7/21	火	Tue	13:10-16:45	
			17:00-(予定)	オリエンテーション / Orientation

※網掛けをしている日は授業を実施しません。

※成績発表予定日は2026年8月28日です。成績はMyWaseda上で確認してください。

2026年9月16日以降はMyWasedaを使用できなくなりますので、必ずそれまでに成績を確認してください。成績確認方法は、以下本センターウェブサイト掲載のとおりです。

<https://www.waseda.jp/inst/cjl/students/grade/>

※MyWasedaを使用できなくなったあとに成績を確認したい場合は、成績証明書(有料)の発行をオンラインで申請してください。申請方法はプログラム開始後、別途案内します。

3. プログラム料（聴講料）

¥

115,600円

※ 海外から日本に入国される本プログラム参加者のうち、希望者には入学手続時に早稲田大学指定の海外旅行保険を紹介します。保険料は聴講料に含まれていないため、別途徴収します。詳細は合格者に送付する「入学手続の手引き」を確認してください。

4. 住居・宿舎



宿舎の確保はご自身で行ってください。希望者は、本学の関連業者を通して宿舎の申込みをすることができます。各関連業者へ直接お申込みください。

- ・ 株式会社早稲田大学アカデミックソリューション (ホームステイ等)
- ・ 株式会社共立メンテナンスインターナショナルドーミー (食事付き寮)
- ・ 株式会社早稲田大学プロパティマネジメント 学生住宅センター (※最短1ヶ月以上、シェアハウス等)
- ・ 早稲田大学生協住まい探しセンター (食事付き寮)
- ・ 株式会社 ダイバーシーズ [Homii] (ホームステイ等)

5. 開講科目



2026年度は3科目(3レベル)開講します。次ページ以降にて、各科目のレベルや内容等の詳細を事前によく確認し、出願時に希望科目を選択してください。希望科目(レベル)は一つしか選べません。選択した科目(レベル)は、出願後や合格後、変更することができません。慎重に選択してください。

科目名	概要
日本語（短期）入門	教科書を使って総合的に日本語を学習する科目
日本語（短期）I	各科目の詳細はP.4-10にて確認してください。
日本語（短期）II	

科目名	レベル
日本語（短期）入門	CEFR A1 / 入門レベル
日本語（短期）I	CEFR A2 / 初級前半レベル
日本語（短期）II	CEFR A2.2 / 初級後半レベル

6. キャンパスツアー、イベント



2025年度の同プログラムでは、キャンパスツアーや早稲田大学の学生との交流イベントを実施しました。2026年度のイベント等については、決まり次第本センターウェブサイトにてお知らせします。



※ The English version of this document is available on the following website.
<https://www.waseda.jp/inst/cjl/en/applicants/s-term/admission/>

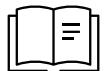
開講科目(レベル)一覧

かいこうかもく(れべる)いちらん

※希望科目(レベル)を一つ選択(せんたく)してください。

※選択(せんたく)した科目(レベル)は、出願後(しゅつがんご)や
合格後(ごうかくご)、変更(へんこう)することができません。
慎重(しんちょう)に選択(せんたく)してください。

1. 使用(しよう)する教科書(きょうかしょ)



各科目(かくかもく)で使用(しよう)する教科書(きょうかしょ)について、どの教科書(きょうかしょ)の
内容(ないよう)が自分(じぶん)が学習(がくしゅう)したいレベルにあっているか、以下(いか)のウェブサ
イトで確認(かくにん)してください。

<https://marugotoweb.jp/ja/>

(引用元：国際交流基金関西国際センター)

科目名(かもくめい)	使用(しよう)する教科書(きょうかしょ)
日本語（短期）入門	まるごと日本語 日本のことばと文化 入門 A1「かつどう」
日本語（短期）Ⅰ	まるごと日本語 日本のことばと文化 初級1 A2「かつどう」
日本語（短期）Ⅱ	まるごと日本語 日本のことばと文化 初級2 A2「かつどう」

2. 各科目の内容（到達目標や学習内容など）



各科目の到達目標、受講に必要な日本語力、学習内容等を必ず確認してください。

科目名(かもくめい)	詳細(しようさい)
日本語（短期）入門	本書(ほんしょ) P.5-6を確認(かくにん)してください。
日本語（短期）Ⅰ	本書(ほんしょ) P.7-8を確認(かくにん)してください。
日本語（短期）Ⅱ	本書(ほんしょ) P.9-10を確認(かくにん)してください。

日本語(短期)入門 / Japanese (Short-term) Beginner

ひらがな・カタカナの学習(がくしゅう)がおわった人のための入門(にゅうもん)クラスです。教科書(きょうかしょ)をつかった授業(じゅぎょう)と、コミュニケーション活動(かつどう)の2種類(しゅるい)の授業(じゅぎょう)を行(おこな)います。

- 教科書(きょうかしょ)をつかった授業(じゅぎょう)では、「きく」「よむ」「はなす」「かく」の4技能(ぎのう)を総合的(そうごうてき)に学習(がくしゅう)します。練習(れんしゅう)やタスクをとおして日本語(にほんご)で「できること」をふやします。基本的(きほんてき)でかんたんなことばと文法(ぶんぽう)も勉強(べんきょう)します。
- コミュニケーション活動(かつどう)では、毎週(まいしゅう)1回(かい)、日本語話者(にほんごわしゃ)にインタビューしてその結果(けつか)を発表(はっぴょう)したりします。

目標(もくひょう)、レベル / Objective, Level

レベル	CEFR A1 / CJL スタンダーズ 0(後半_こうはん) / 入門(にゅうもん)レベル
到達目標 (どうたつもくひょう)	1. あいさつをすることができます。 2. 自分(じぶん)のことをかんたんに話(はな)すことができる。 3. 自分(じぶん)のスケジュールについて話(はな)すことができる。 4. 休(やす)みに何をしたかかんたんに話(はな)すことができる。
プログラムの じゅこう ひつよう 受講に必要な にほんごのうりょく 日本語能力	✓ ひらがなとカタカナを読(よ)んで書(か)くことができます。 ※ 初(はじ)めて日本語(にほんご)を学習(がくしゅう)する方(かた)向(む)けの プログラムではありませんので注意(ちゅうい)してください。 ※ ひらがな・カタカナを学習(がくしゅう)してから履修(りしゅう)してください。

学習内容(がくしゅうないよう) / Course Contents

①教科書(きょうかしょ) / Textbook



まるごと日本語 日本のことばと文化 入門 A1「かつどう」
(三修社)

Marugoto: Japanese language and culture
Starter A1 Coursebook for communicative
language activities (Sanshusha)

目次(もくじ) / 内容一覧(ないよういちらん):

https://marugoto.jpf.go.jp/assets/docs/about/starter_activities_contents.pdf

サンプルページ:

https://marugoto.jpf.go.jp/assets/docs/about/starter_activities_sample.pdf

②この科目(かもく)で出(で)てくる文型(ぶんけい)のリスト

List of sentence patterns covered in this course

https://www.waseda.jp/inst/cjl/assets/uploads/2024/11/Short-term_Beginner.pdf

単位数(たんいすう)、授業計画(じゅぎょうけいかく)、成績(せいせき)について

単位数 (たんいすう)	2
事前・事後学習 (じぜん・じご がくしゅう)	予習(よしゅう)として、教科書(きょうかしょ)を読(よ)んでくることを求(もと)めます。また、授業(じゅぎょう)時間外(じかんがい)に発表(はっぴょう)のための準備(じゅんび)をする必要(ひつよう)があります。文法(ぶんぽう)の宿題(しゅくだい)が出(で)るときもあります。1回(かい)の授業(じゅぎょう)の予習(よしゅう)、復習(ふくしゅう)、宿題(しゅくだい)には平均(へいきん)約(やく)60分(ぶん)～120分(ぶん)かかります。
授業計画 (じゅぎょうけいかく)	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書(きょうかしょ)を使(つか)った授業(じゅぎょう)について 月曜日(げつようび)から木曜日(もくようび)は、教科書(きょうかしょ)に沿(そ)つて授業(じゅぎょう)をします。CEFR A1レベルのタスクとタスクをするために必要(ひつよう)なことばや文法(ぶんぽう)を勉強(べんきょう)します。 ●コミュニケーション活動(かつどう)について 毎週(まいしゅう)金曜日(きんようび)にコミュニケーション活動(かつどう)をします。日本語話者(にほんごわしゃ)と一緒に(いつしょ)に、お互(たが)いの趣味(しゅみ)や好(す)きなことについて話(はな)します。コース後半(こうはん)の活動(かつどう)はインタビュー活動(かつどう)です。日本語話者(にほんごわしゃ)にインタビューをして、その結果(けっか)をまとめて発表(はっぴょう)します。グループ活動(かつどう)です。 <p>※スケジュールは変更(へんこう)になる可能性(かのうせい)があります。</p>
成績評価方法 (せいせきひょうか ほうほう)	<p>試験(しけん) : 30%</p> <ul style="list-style-type: none"> まとめクイズ 30% <p>平常点(へいじょうてん)評価(ひょうか) : 70%</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題(かだい) 20% 発表(はっぴょう) 20% クラス参加度(さんかど)、出席(しゅつせき)など 30%

日本語(短期)I / Japanese (Short-term) I

このクラスは入門期(にゅうもんき)の勉強(べんきょう)がおわった人(ひと)のための初級(しょきゅう)クラスです。教科書(きょうかしょ)をつかった授業(じゅぎょう)と、コミュニケーション活動(かつどう)の2種類(しゅるい)の授業(じゅぎょう)を行います。

- 教科書(きょうかしょ)を使(つか)った授業(じゅぎょう)では、「きく」「よむ」「はなす」「かく」の4技能(ぎのう)を総合的(そうごうてき)に学習(がくしゅう)します。練習(れんしゅう)やタスクを通(とお)して日本語(にほんご)で「できること」を増(ふ)やします。基本的(きほんてき)なことばと文法(ぶんぽう)も勉強(べんきょう)します。
- コミュニケーション活動(かつどう)では、毎週(まいしゅう)1回、調(しら)べたことを日本語(にほんご)で発表(はっぴょう)したり、日本語話者(にほんごわしゃ)にインタビューしてその結果(けつか)を発表(はっぴょう)したりします。

目標(もくひょう)、レベル / Objective, Level

レベル	CEFR A2 / CJL Standards 1(後半_こうはん) / 初級前半(しょきゅうぜんはん)レベル
到達目標 (とうたつもくひょう)	<ol style="list-style-type: none">かんたんな日常(にちじょう)会話(かいわ)やインタビューができる。日本語(にほんご)でかんたんな発表(はっぴょう)をすることができる。身近(みぢか)なことについて書(か)かれたかんたんな文章(ぶんしゅう)を読(よ)むことができる。自分(じぶん)のことを短(みじか)い文章(ぶんしゅう)で書(か)くことができる。
プログラムの じゅこう ひつよう 受講に必要な にほんごのうりょく 日本語能力	<ul style="list-style-type: none">✓ ひらがなとカタカナを読(よ)んで書(か)くことができます。✓ あいさつをしたり、かんたんな質問(しつもん)にこたえることができます。✓ 自分(じぶん)のことをかんたんに話(はな)すことができます。✓ メニューや看板(かんばん)の文字(もじ)を、絵(え)や写真(しゃしん)をみながら読(よ)むことができます。✓ ひらがなとカタカナで名前(なまえ)や住所(じゅうしょ)など、かんたんな情報(じょうほう)を書(か)くことができます。

学習内容(がくしゅうないよう) / Course Contents

①教科書(きょうかしょ) / Textbook



まるごと日本語 日本のことばと文化 初級1 A2「かつどう」
(三修社)

Marugoto: Japanese Language and Culture
Elementary1 A2 Coursebook for communicative
language activities" (Sanshusha)

目次(もくじ) / 内容一覧(ないよういちらん):

https://marugoto.jpf.go.jp/assets/docs/about/elementary1_activities_contents.pdf

サンプルページ:

https://marugoto.jpf.go.jp/assets/docs/about/elementary1_activities_sample.pdf

②この科目(かもく)で出(で)てくる文型(ぶんけい)のリスト

List of sentence patterns covered in this course

https://www.waseda.jp/inst/cjl/assets/uploads/2024/11/Short-term_one.pdf

日本語(短期)I / Japanese (Short-term) I

単位数(たんいすう)、授業計画(じゅぎょうけいかく)、成績(せいせき)について

単位数 (たんいすう)	2
事前・事後学習 (じぜん・じご がくしゅう)	予習(よしゅう)として、教科書(きょうかしょ)を読(よ)んでくることを求(もと)めます。また、授業(じゅぎょう)時間外(じかんがい)に発表(はっぴょう)のための準備(じゅんび)をする必要(ひつよう)があります。文法(ぶんぽう)の宿題(しゅくだい)が出(で)るときもあります。1回(かい)の授業(じゅぎょう)の予習(よしゅう)、復習(ふくしゅう)、宿題(しゅくだい)には平均(へいきん)約(やく)60分(ぶん)～120分(ぶん)かかります。
授業計画 (じゅぎょうけいかく)	<ul style="list-style-type: none">●教科書(きょうかしょ)を使(つか)った授業(じゅぎょう)について 月曜日(げつようび)から木曜日(もくようび)は、教科書(きょうかしょ)に沿(そ)つて授業(じゅぎょう)をします。CEFR A2レベルのタスクとタスクをするために必要(ひつよう)なことばや文法(ぶんぽう)を勉強(べんきょう)します。●コミュニケーション活動(かつどう)について 毎週(まいしゅう)金曜日(きんようび)にコミュニケーション活動(かつどう)をします。コース前半(ぜんはん)の活動(かつどう)は、テーマについて調(しら)べて発表(はっぴょう)する活動(かつどう)です。個人(こじん)で発表(はっぴょう)します。コース後半(こうはん)の活動(かつどう)はインタビュー活動(かつどう)です。日本語話者(にほんごわしゃ)にインタビューをして、その結果(けつか)をまとめて発表(はっぴょう)します。グループ活動(かつどう)です。
成績評価方法 (せいせきひょうか ほうほう)	試験(しけん) : 30% <ul style="list-style-type: none">まとめクイズ 30% 平常点(へいじょうてん)評価(ひょうか) : 70% <ul style="list-style-type: none">課題(かだい) 20%発表(はっぴょう) 30%クラス参加度(さんかど)、出席(しゅっせき)など 20%

日本語(短期)Ⅱ / Japanese (Short-term) Ⅱ

このクラスは初級(しょきゅう)後半(こうはん)クラスです。教科書(きょうかしょ)を使(つか)った授業(じゅぎょう)と、コミュニケーション活動(かつどう)の2種類(しゅるい)の授業(じゅぎょう)を行います。

- 教科書(きょうかしょ)を使(つか)った授業(じゅぎょう)では、「聞く」「よむ」「はなす」「かく」の4技能(ぎのう)を総合的(そうごうてき)に学習(がくしゅう)します。練習(れんしゅう)やタスクを通(とお)して日本語(にほんご)で「できること」を増(ふ)やします。基本的(きほんてき)なことばと文法(ぶんぽう)も勉強(べんきょう)します。
- コミュニケーション活動(かつどう)では、毎週(まいしゅう)1回、調(しらべたことを日本語(にほんご)で発表(はっぴょう)したり、日本語話者(にほんごわしゃ)にインタビューしてその結果(けっか)を発表(はっぴょう)したりします。

目標(もくひょう)、レベル / Objective, Level

レベル	CEFR A2.2 / CJL スタンダーズ 2 / 初級後半(しょきゅうこうはん)レベル
到達目標 (どうたつもくひょう)	<ol style="list-style-type: none">日常会話(にちじょうかいわ)やインタビューができる。調(しらべたことについて発表(はっぴょう)し、簡単(かんたん)な意見(いきん)を言(い)うことができる。アンケート結果(けっか)などを読(よ)むことができる自分(じぶん)の出身地(しゆつしんち)を紹介(しょうかい)するための簡単(かんたん)な文章(ぶんしょう)を書(か)くことができる。
プログラムの じゅこう ひつよう 受講に必要な にほんごのうりょく 日本語能力	<ul style="list-style-type: none">✓ かんたんな日常会話(にちじょうかいわ)やかんたんなインタビューができる。✓ 日本語(にほんご)でかんたんな発表(はっぴょう)をすることができる。✓ 身近(みぢか)なことについて書(か)かれたかんたんな文章(ぶんしょう)を読(よ)むことができる。✓ 自分(じぶん)のことを短(みじか)い文章(ぶんしょう)で書(か)くことができる。

学習内容(がくしゅうないよう) / Course Contents

①教科書(きょうかしょ) / Textbook



まるごと日本語 日本のことばと文化 初級2 A2「かつどう」
(三修社)

Marugoto: Japanese Language and Culture
Elementary2 A2 Coursebook for communicative
language activities (Sanshusha)

目次(もくじ) / 内容一覧(ないよういちらん):

https://marugoto.jpf.go.jp/assets/docs/about/elementary2_activities_contents.pdf

サンプルページ:

https://marugoto.jpf.go.jp/assets/docs/about/elementary2_activities_sample.pdf

②この科目(かもく)で出(で)てくる文型(ぶんけい)のリスト

List of sentence patterns covered in this course

https://www.waseda.jp/inst/cjl/assets/uploads/2024/11/Short-term_two.pdf

日本語(短期)Ⅱ / Japanese (Short-term) Ⅱ

単位数(たんいすう)、授業計画(じゅぎょうけいかく)、成績(せいせき)について

単位数 (たんいすう)	2
事前・事後学習 (じぜん・じご がくしゅう)	予習(よしゅう)として、教科書(きょうかしょ)を読(よ)んでくることを求(もと)めます。また、授業(じゅぎょう)時間外(じかんがい)に発表(はっぴょう)のための準備(じゅんび)をする必要(ひつよう)があります。文法(ぶんぽう)の宿題(しゅくだい)が出(で)るときもあります。1回(かい)の授業(じゅぎょう)の予習(よしゅう)、復習(ふくしゅう)、宿題(しゅくだい)には平均(へいきん)約(やく)60分(ぶん)～120分(ぶん)かかります。
授業計画 (じゅぎょうけいかく)	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書(きょうかしょ)を使(つか)った授業(じゅぎょう)について 月曜日(げつようび)から木曜日(もくようび)は、教科書(きょうかしょ)に沿(そ)つて授業(じゅぎょう)をします。CEFR A2.2レベルのタスクとタスクをするために必要(ひつよう)なことばや文法(ぶんぽう)を勉強(べんきょう)します。 ●コミュニケーション活動(かつどう)について 毎週(まいしゅう)金曜日(きんようび)にコミュニケーション活動(かつどう)をします。コース前半(ぜんはん)の活動(かつどう)は、テーマについて調(しら)べて発表(はっぴょう)する活動(かつどう)です。個人(こじん)で発表(はっぴょう)します。コース後半(こうはん)の活動(かつどう)はインタビュー活動(かつどう)です。日本語話者(にほんごわしゃ)にインタビューをして、その結果(けつか)をまとめて発表(はっぴょう)します。グループ活動(かつどう)です。
成績評価方法 (せいせきひょうか ほうほう)	<p>試験(しけん) : 30%</p> <ul style="list-style-type: none"> まとめクイズ 30% <p>平常点(へいじょうてん)評価(ひょうか) : 70%</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題(かだい) 20% 発表(はっぴょう) 30% クラス参加度(さんかど)、出席(しゅっせき)など 20%